

長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	住民プロジェクト推進事業		担当部署	部	課																
						くらし文化部	たつせがある課																
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公共」の担い手としての意識の醸成	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～																
						フラッグ項目	(24)協働コーディネーター・まちづくりリーダーの育成																
事業の概要	地域の課題を地域で考え地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくるために、市民や市職員を対象としたワークショップを開催し、市民力及び職員力の向上を図ることを目的とする。 市民ワークショップ(市職員18名+市民約35名)8回程度開催・先進地合宿研修・プロジェクトの企画・運営				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	広島県福山市:中心市街地賑わい創出活動支援事業(福山市若手職員F-Netによるワークショップ運営) 新潟県燕市:つばめ若者会議(燕市の次世代リーダー育成、若手市民の主体的まちづくり活動の推進)																	
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成26年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算												
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び市職員					うち	一般財源	4,898	4,349	5,229	4,890	4,729											
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民ワークショップを通して、市民や市職員の地域づくりの当事者としての意識を高め、地域のことを地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」ができてくる。					国費・県費	0	0	0	0	0												
						地方債	0	0	0	0													
						その他	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0														
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>												評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～													
① 市民ワークショップの 運営	市民及び市 職員が	実践的なワークショップを実施 することで、	市民協働プロジェクト を自主的・主体的に 企画・運営できるよう にする。	市民ワーク ショップ8回	ワークショップの 参加者が、参加 してよかったと回 答した割合	-	75	%	各回のワークショップ が有意義なものであ ると感じた参加者が、 平均して7割程度で あることを目指す。	4,898	4,349	5,229	4,890	住民プロジェクト推進 事業業務委託 4,890千円	A	市民と市職員のチームがワークショップでの 話し合いや先進地視察を行い、その成果発 表の場を自分たちで企画・運営したことで、 新しい市民協働の仕組みが進んだ。 今後は、自分たちが考えたプロジェクトを自 分たちで実践していけるように、チームの運 営体制づくりや、メンバーのスキルアップを 図る。		
②																		
③																		
④																		

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要